

令和6年4月5日

報道機関各位

青森県立美術館副館長

## 企画展「フランク・ロイド・ライト－世界を結ぶ建築」 スペシャルトークイベント 青木淳×佐藤熊弥について

青森県立美術館では、令和6年4月13日（土）に企画展「フランク・ロイド・ライト－世界を結ぶ建築」の関連企画として、本展の会場構成を担当した青木淳氏、佐藤熊弥氏によるスペシャルトークイベントを開催します。また、トーク終了後は展覧会場に移動し、ギャラリーツアーも開催します。

つきましては、取材・報道方よろしくお願いたします。

記

### 1 開催概要

(1) 日時：令和6年4月13日（土）14:00－16:00

(2) 会場：青森県立美術館シアター、企画展示室

(3) 定員：トーク：150人（事前申込不要）

ギャラリーツアー：30名・当日受付先着順（13:30より受付開始）

(4) 登壇者の紹介

青木淳（あおき・じゅん）

建築家。青森県立美術館設計者。1956年生。1982年東京大学大学院修士課程修了。1991年に青木淳建築計画事務所を設立。個人宅、美術館などの公共建築からブティックまで多方面で活躍している。主な作品に、ルイ・ヴィトン銀座並木通り店、SIA青山ビルなど。現在、京都市京セラ美術館館長を務める。

佐藤熊弥（さとう・くまや）

1991年東京都生まれ。2017年東京藝術大学油画修士課程修了。2020年早稲田大学芸術学校卒業。2023年西澤徹夫建築事務所を経て、tandem設立。主な仕事に、「ある家族の会話」（東京都／2024）、ポーラ美術館「フィリップ・パレーノ：この場所、あの空」展示デザイン（神奈川県／2024）など。

#### 報道機関用提出資料（連絡先）

担当	青森県立美術館 美術企画課 担当 板倉容子
電話番号	017-783-5240
所属長	青森県立美術館 副館長 境谷孝司

## 青森県立美術館 企画展『フランク・ロイド・ライトー世界を結ぶ建築』について

### 1. 開催趣旨

アメリカを代表する近代建築の巨匠、フランク・ロイド・ライトの先駆的な活動を紹介する大回顧展。「東洋の宝石」とも謳われた帝国ホテル二代日本館完成100周年を記念して開催される本展には、日本初公開の作品も出品されており、ライト建築の魅力に触れる絶好の機会となっています。



展示会場風景

### 2. 開催期間

2024年3月20日(水・祝)~5月12日(日)

### 3. 展覧会開催の経緯

本展覧会は、昨年10月に豊田市美術館でスタートし、その後、パナソニック汐留美術館で開催。本展覧会最後の開催地となる青森県立美術館では、美術館の設計者である建築家の青木淳、若手の佐藤熊弥が会場構成を手がけ、展示什器にりんご箱を使用するなど当館ならではのユニークな展示空間となっています。

### 4. 本展覧会のテーマについて

ライトにとって最も大きなプロジェクトとなった帝国ホテルを基軸に、日本をはじめ様々な文化と交流し、常にグローバルな視点で未来の人間の生き方を見据えながら設計活動をおこなってきたライトの姿を明らかにします。

### 5. 展示内容

- ・ 建築の手法やプロジェクトなどのテーマに沿って7つの章から構成。
- ・ 日本初公開となる建築ドローイングや図面の他、住宅の再現展示（一部）、オリジナルの家具や模型、写真などライトの創作の背景を浮き彫りにする作品群や資料を展示。



展示会場風景



展示会場風景



(参考)

1. フランク・ロイド・ライトについて

フランク・ロイド・ライト (1867-1959) は、アメリカの建築家で、ル・コルビュジェ、ミース・ファン・デル・ローエとともに「近代建築の三大巨匠」と呼ばれる世界で最も著名な建築家の一人。「落水荘」「グッゲンハイム美術館」など、代表作のいくつかは世界遺産にも登録されている。非常に多作な建築家でもあり、約70年に及ぶ活動期間のなかで1114点もの建築設計に携わった。日本にも、帝国ホテル二代日本館や自由学園明日館、旧山邑邸(ヨドコウ迎賓館)などの作品を残している。

2. 青森県立美術館 企画展『フランク・ロイド・ライトー世界を結ぶ建築』開催情報

(1)開館時間

9:30~17:00 (入館は16:30まで)

(2)休館日・休室日

4月8日(月)、15日(月)、22日(月)

(3)観覧料

一般1,500円/高大生1,000円/小中生以下無料

※4/13(土)からは、「かさなりとまじわり」展のセット券を販売

一般2,000円/高大生1,000円/小中生100円